

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひまわり作成日: 平成 31 年 3 月 22 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	併設軽費老人ホームの行事や活動に参加しているが、運営推進会議等を通じて、地域の行事に利用者と職員が参加し、ホームのレクレーションにも地域の方や家族に参加を要請して、地域交流の輪を広げていく。	介護職の実習や支援学校の見学、実習生の受け入れを行い、地域住民や利用者家族がホームに訪し易い環境をつくり、相互信頼関係を築き、高齢者の介護相談や老々介護、独居老人の見守り等を地域と協力しながら実施していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	夜間想定避難訓練も含め、年2回訓練を実施しているが、夜勤者が夜間1人で9名の利用者を、短時間で救出することの難しさを実感して、避難訓練を自信がつくまで繰り返し、夜勤者の自信に繋げていく。	利用者を巻き込まず、夜勤者を中心に夜間想定避難訓練を、目標タイムを設定して何回も繰り返し訓練を行うことで夜勤者の自信に繋げ、非常時に迅速な対応が出来る体制を築いていく。また、いざという時、併設事業所職員や地域の方に駆けつけてもらえる体制を確立していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。